

2015年



右馬允だま

大鹿村の山々が、右馬允の庭が 大鹿村が
 深い緑に覆われ 豊の大自然にまぼつと抱かれた安心
 充足感に浸る毎日です。代かきか終った田んぼには 早苗が
 整然と並ぶ 炎夏の風がその間を吹きぬす 右馬允の夏不立
 の間をすりぬけ 青山に向い せめて空へは 消えていきます。

いよいよ増え増え困るわよ〜 それこそ嬉しいです
 といつ小燕亭さんからいたゞいて来たバイク行方 本庭
 中が"たらす"にまてしおいたが 今頃ははじめ 右馬允の
 陽の当たる庭は素晴らしいです。早朝にうらと眺める時は
 時間の止れ! と呪文を唱えて 楽しめます。陽陰の苔庭
 の方では 不アルブクロ・ムツクメク(ピンク)・あじさいの時
 を行っています。自然界の眠りに入ってから 1年の半分ほどの
 時の為には 附之思ふのたゞ ということを通らばせむから 今知
 る自分に少々驚かす。寒さに 貪りに我慢して 6月
 を通し そのごほう美が これです。有り難く思う存分
 頂戴致します。畑では 小燕、小松菜、おえんとうが取
 れはじめ これから 美味しい人に限り 自然は 豊のま

恵みと沢山与えて下さるようになっていゝわけです。その辺は
 とうの自信の無いところでもあります。

冬の間に 熱心に フカサギ釣りに夢中だった
 右馬允の男性軍 いよいよ 鮎釣りの季節を
 迎えました。下伊那漁協の鮎釣りの解禁日は 6月6日ですが
 待ち切れず 5月14日 愛知県(こゝは 5月11日 解禁) 矢作川へ早朝
 3:00 A.M.に出発。大好きな人たち、全口から集まる中 長男允
 25匹を釣り上げ 意気揚々と帰宅。5月18日は 允の影響で
 釣気違の仲間入りをした正介父と二人で やほり愛知の振草川
 へ。父親8匹 允9匹。難しいものなごすね。小魚は
 おだおだ小さく 塩焼きで食べれば かわいらしいものですが 香
 りとおい 塩とおい 魅力は 充分です。先は 4月9日からの
 東京の1ツ朝のお手伝いに 出かけていて 6月1日には 度りの
 釣り仲間と合流するはずですが、今疲れが 出て 5月と大変
 のようですが 帰って釣りに 出かけるはず 回復 出来るでしょう。
 又美は 4月29日の 季花の祭りに 舞い奉納させていたこと
 でしたが 上手に舞ってくれてみて うれしく思いました。5月中は
 人の講演会を頼まれたり リニア対策委員として 討論会に出たり
 して 忙しかく動いていたの下 今必死で 田を作たり 作付
 したりと 大変。そんな中 友子母は ペースを崩さず 日々やる
 やきことを きちんとし 更に今日は こん作て下さいと お願いすれば
 可んでも して下さり お陰様で 御年97才 素晴らしい!!